

2020年3月期
決算説明資料

株式会社 大垣共立銀行

【 目 次 】

I 2020年3月期決算の概況

1. 概要	【単体】	3
2. 損益状況	【単体】・【連結】	5
3. 業務純益	【単体】	6
4. 利鞘	【単体】	7
5. 有価証券関係損益	【単体】	7
6. 自己資本比率（国内基準）	【連結】・【単体】	8
7. ROE	【単体】	8

II 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	【単体】・【連結】	9
2. 貸倒引当金の状況	【単体】・【連結】	10
3. リスク管理債権に対するカバー率	【単体】	10
4. 金融再生法開示債権と保全状況	【単体】	11
5. 不良債権の開示基準別の残高	【単体】	12
6. 業種別貸出状況等			
(1) 業種別貸出金	【単体】	14
(2) 業種別リスク管理債権	【単体】	14
(3) 消費者ローン残高	【単体】	15
(4) 中小企業等貸出比率	【単体】	15
7. 国別貸出状況等	【単体】	15
8. 預金・譲渡性預金、貸出金の残高	【単体】	15

III その他

1. 有価証券の評価損益	【連結】・【単体】	16
2. 2021年3月期業績予想	【単体】・【連結】	17

I 2020年3月期決算の概況

1. 概要【単体】

※増減比較については、表上にて算出しております。

(1) 損益の状況

2020年3月期の損益状況は、資金利益は減少したものの、役務取引等利益が増加したほか、経費が減少したことなどから、業務純益は前期比13億円増加し97億円となりました。
 しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大を背景にしました金融市場の混乱を受けて、株式等関係損益が減少したことなどから、経常利益、当期純利益はともに減益となりました。

A. 業務純益

(単位 百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
業 務 粗 利 益	54,865	296	54,569
うち 資 金 利 益	49,273	△1,555	50,828
うち 役 務 取 引 等 利 益	5,114	769	4,345
うち そ の 他 業 務 利 益	478	1,082	△604
経 費	45,708	△461	46,169
うち 人 件 費	24,818	△491	25,309
うち 物 件 費	18,534	56	18,478
うち 税 金	2,355	△26	2,381
実 質 業 務 純 益	9,157	757	8,400
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	△603	△603	—
業 務 純 益	9,760	1,360	8,400

・業務粗利益は、前期比2億円増加して548億円となりました。内訳は、①資金利益が前期比15億円減少して492億円、②役務取引等利益が前期比7億円増加して51億円、③その他業務利益が前期比10億円増加して4億円となっております。

B. 経常利益

(単位 百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
臨 時 損 益	△2,031	△2,608	577
うち 不 良 債 権 処 理 額	837	808	29
うち 貸 出 金 償 却	28	△1	29
うち 個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	809	809	—
うち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	—	△12	12
うち 株 式 等 関 係 損 益 (3 勘 定 尻)	△195	△1,340	1,145
うち 株 式 等 売 却 益	2,134	△1,081	3,215
うち 株 式 等 売 却 損	635	△399	1,034
うち 株 式 等 償 却	1,694	658	1,036
経 常 利 益	7,728	△1,249	8,977

・株式等関係損益は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景にしました金融市場の混乱を受けて、株式等売却益が減少したほか、株式等償却が増加したことから、前期比13億円減少しました。

C. 当期純利益

(単位 百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
特 別 損 益	△543	△456	△87
うち 固 定 資 産 処 分 損 益	△297	△226	△71
うち 収 用 補 償 金	—	△258	258
うち 減 損 損 失	245	△29	274
税 引 前 当 期 純 利 益	7,185	△1,704	8,889
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,866	13	1,853
法 人 税 等 調 整 額	721	280	441
当 期 純 利 益	4,597	△1,997	6,594

(2) 主要な勘定の状況

(単位 百万円)

		2020年3月期			2019年9月期	2019年3月期
			2019年9月期比	2019年3月期比		
貸 出 金	(末残)	4,203,160	101,051	69,673	4,102,109	4,133,487
	(平残)	4,118,622	17,425	45,540	4,101,197	4,073,082
有価証券	(末残)	1,284,410	△19,881	45,576	1,304,291	1,238,834
	(平残)	1,219,012	20,584	△311	1,198,428	1,219,323
預 金	(末残)	5,146,911	97,524	109,467	5,049,387	5,037,444
	(平残)	5,070,353	26,463	126,365	5,043,890	4,943,988
譲渡性預金	(末残)	63,488	△13,300	△7,927	76,788	71,415
	(平残)	72,623	△5,662	△6,117	78,285	78,740

- ・貸出金は、末残ベースで前期末比 696 億円増加し、4兆2,031 億円となりました。
- ・有価証券は、末残ベースで前期末比 455 億円増加し、1兆2,844 億円となりました。
- ・預金は、末残ベースで前期末比 1,094 億円増加し、5兆1,469 億円となりました。
- ・譲渡性預金は、末残ベースで前期末比 79 億円減少し、634 億円となりました。

(3) 個人預り資産の状況

(単位 百万円)

		2020年3月期			2019年9月期	2019年3月期
			2019年9月期比	2019年3月期比		
合 計	投 資 信 託	94,910	△17,401	△19,835	112,311	114,745
	生 命 保 険 (注)	456,586	8,324	17,416	448,262	439,170
	公 共 債	37,971	10,339	8,956	27,632	29,015
	外 貨 預 金	29,969	△1,721	3,510	31,690	26,459
合 計		619,436	△459	10,047	619,895	609,389

(注) 生命保険は、販売累計額であります。

上記の他、2020年3月末におけるOKB証券株式会社の預り資産残高は261億円であります。

2. 損益状況

【単体】

(単位 百万円)

		2020年3月期		2019年3月期
				2019年3月期比
業 務 粗 利 益	1	54,865	296	54,569
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(53,888)	(7)	(53,881)
国 内 業 務 粗 利 益	3	52,612	△4,028	56,640
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(51,851)	(△183)	(52,034)
資 金 利 益	5	46,789	△934	47,723
役 務 取 引 等 利 益	6	4,978	749	4,229
そ の 他 業 務 利 益	7	845	△3,842	4,687
(うち国債等債券損益)	8	(761)	(△3,845)	(4,606)
国 際 業 務 粗 利 益	9	2,252	4,323	△2,071
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	(2,037)	(191)	(1,846)
資 金 利 益	11	2,484	△621	3,105
役 務 取 引 等 利 益	12	135	20	115
そ の 他 業 務 利 益	13	△366	4,926	△5,292
(うち国債等債券損益)	14	(215)	(4,133)	(△3,918)
経 費	15	45,708	△461	46,169
人 件 費	16	24,818	△491	25,309
物 件 費	17	18,534	56	18,478
税 金	18	2,355	△26	2,381
実 質 業 務 純 益 (注)1	19	9,157	757	8,400
コ ア 業 務 純 益 (注)2	20	8,180	468	7,712
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	21	7,703	429	7,274
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	22	△603	△603	—
業 務 純 益	23	9,760	1,360	8,400
うち国債等債券損益(5勘定戻)	24	976	289	687
臨 時 損 益	25	△2,031	△2,608	577
不 良 債 権 処 理 額	26	837	808	29
貸 出 金 償 却	27	28	△1	29
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	28	809	809	—
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	29	—	△12	12
株 式 等 関 係 損 益	30	△195	△1,340	1,145
株 式 等 売 却 益	31	2,134	△1,081	3,215
株 式 等 売 却 損	32	635	△399	1,034
株 式 等 償 却	33	1,694	658	1,036
そ の 他 臨 時 損 益	34	△998	△448	△550
経 常 利 益	35	7,728	△1,249	8,977
特 別 損 益	36	△543	△456	△87
うち固定資産処分損益	37	△297	△226	△71
うち収用補償金	38	—	△258	258
うち減損損失	39	245	△29	274
税 引 前 当 期 純 利 益	40	7,185	△1,704	8,889
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	41	1,866	13	1,853
法 人 税 等 調 整 額	42	721	280	441
法 人 税 等 合 計	43	2,587	293	2,294
当 期 純 利 益	44	4,597	△1,997	6,594
与 信 関 係 費 用 (22 + 26 - 29)	45	234	217	17

(注) 1. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

【連結】

(単位 百万円)

		2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
連 結 粗 利 益	1	57,987	1,153	56,834
資 金 利 益	2	49,096	△1,113	50,209
役 務 取 引 等 利 益	3	8,190	961	7,229
そ の 他 業 務 利 益	4	699	1,303	△604
営 業 経 費	5	49,450	164	49,286
そ の 他 経 常 損 益	6	1,799	△1,293	3,092
うち不良債権処理額	7	450	231	219
貸出金償却	8	33	△30	63
貸倒引当金繰入額	9	363	313	50
一般貸倒引当金繰入額	10	△699	1,323	△2,022
個別貸倒引当金繰入額	11	1,063	△1,009	2,072
延滞債権等売却損	12	53	△52	105
うち株式等関係損益	13	△160	△1,275	1,115
経 常 利 益	14	10,335	△304	10,639
特 別 損 益	15	△543	△454	△89
うち固定資産処分損益	16	△297	△225	△72
うち収用補償金	17	—	△258	258
うち減損損失	18	245	△29	274
税金等調整前当期純利益	19	9,792	△758	10,550
法人税、住民税及び事業税	20	2,801	103	2,698
法人税等調整額	21	706	278	428
法人税等合計	22	3,508	381	3,127
当 期 純 利 益	23	6,284	△1,139	7,423
非支配株主に帰属する当期純利益	24	786	224	562
親会社株主に帰属する当期純利益	25	5,498	△1,363	6,861

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後))

+ (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位 百万円)

連 結 業 務 純 益	26	12,368	2,306	10,062
-------------	----	--------	-------	--------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社経常利益 - 内部取引

(連結対象会社数)

(単位 社)

連 結 子 会 社 数	10	0	10
持 分 法 適 用 会 社 数	0	0	0

3. 業務純益

【単体】

(単位 百万円)

		2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
(1) 実 質 業 務 純 益		9,157	757	8,400
職員一人当たり(千円)		3,144	329	2,815
(2) 業 務 純 益		9,760	1,360	8,400
職員一人当たり(千円)		3,351	536	2,815

(注) 職員数は期中平均人員を使用しております。 2020年3月期 2,912人 2019年3月期 2,983人

4. 利鞘

総資金利鞘は、外部負債利回りや経費率の低下により資金調達原価は低下したものの、貸出金利回りや有価証券利回りの低下により資金運用利回りも低下したことから、前期比0.01%低下し0.08%となりました。

【単体】

(単位 %)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	資金運用利回 ①	1.00	△0.07
貸出金利回 ②	0.91	△0.04	0.95
有価証券利回	0.90	△0.18	1.08
資金調達原価 ③	0.92	△0.06	0.98
預金等利回 ④	0.02	0.00	0.02
外部負債利回	0.91	△0.39	1.30
預金等原価 ⑤	0.91	△0.03	0.94
(預金)経費率	0.88	△0.03	0.91
預貸金レートの差 ②-④	0.89	△0.04	0.93
預貸金利鞘 ②-⑤	0.00	△0.01	0.01
総資金利鞘 ①-③	0.08	△0.01	0.09

国内業務部門	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	資金運用利回 ①	0.92	△0.04
貸出金利回 ②	0.86	△0.05	0.91
有価証券利回	0.70	△0.11	0.81
資金調達原価 ③	0.84	△0.05	0.89
預金等利回 ④	0.01	△0.01	0.02
外部負債利回	△0.00	△0.08	0.08
預金等原価 ⑤	0.86	△0.04	0.90
(預金)経費率	0.84	△0.03	0.87
預貸金レートの差 ②-④	0.85	△0.04	0.89
預貸金利鞘 ②-⑤	0.00	△0.01	0.01
総資金利鞘 ①-③	0.08	0.01	0.07

5. 有価証券関係損益

【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
	国債等債券損益(5勘定戻)	976	289
売却益	2,638	△2,264	4,902
償還益	—	—	—
売却損	199	△4,016	4,215
償還損	—	—	—
償却	1,461	1,461	—

株式等関係損益(3勘定戻)	△195	△1,340	1,145
売却益	2,134	△1,081	3,215
売却損	635	△399	1,034
償却	1,694	658	1,036

6. 自己資本比率（国内基準）

2020年3月末の連結ベースの自己資本比率は8.16%、単体ベースの自己資本比率は7.76%となりました。

【連結】

（単位 百万円、%）

[速報値]	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
自己資本比率	8.16	△ 0.10	8.26
自己資本の額	246,377	2,437	243,940
リスク・アセット	3,018,030	67,324	2,950,706
総所要自己資本額	120,721	2,693	118,028

【単体】

（単位 百万円、%）

[速報値]	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
自己資本比率	7.76	△ 0.11	7.87
自己資本の額	227,139	2,007	225,132
リスク・アセット	2,923,518	64,213	2,859,305
総所要自己資本額	116,940	2,568	114,372

7. ROE

【単体】

（単位 %）

	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
業務純益ベース	3.46	0.56	2.90
当期純利益ベース	1.63	△0.65	2.28

$$(注) ROE = \frac{\text{業務純益 (または当期純利益)}}{(\text{期首純資産の部合計} - \text{期首新株予約権} + \text{期末純資産の部合計} - \text{期末新株予約権}) \div 2} \times 100$$

Ⅱ 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施前・未収利息不計上基準（破綻懸念先、実質破綻先及び破綻先の未収利息は不計上）

【単体】

(単位 百万円、%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,724	△1,808	3,532
	延滞債権額	41,488	△4,104	45,592
	3カ月以上延滞債権額	72	54	18
	貸出条件緩和債権額	12,135	△342	12,477
	合計	55,420	△6,201	61,621

貸出金残高(末残)	4,203,160	69,673	4,133,487
-----------	-----------	--------	-----------

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.04	△0.04	0.08
	延滞債権額	0.98	△0.12	1.10
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.28	△0.02	0.30
	合計	1.31	△0.18	1.49

(参考) 部分直接償却は実施していませんが、実施した場合は下記のとおりであります。(単位 百万円、%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,005	306	699
	延滞債権額	38,467	△4,765	43,232
	3カ月以上延滞債権額	72	54	18
	貸出条件緩和債権額	12,135	△342	12,477
	合計	51,680	△4,747	56,427

貸出金残高(末残)	4,199,420	71,127	4,128,293
-----------	-----------	--------	-----------

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.02	0.01	0.01
	延滞債権額	0.91	△0.13	1.04
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.28	△0.02	0.30
	合計	1.23	△0.13	1.36

【連結】

(単位 百万円、%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,727	△1,810	3,537
	延滞債権額	41,574	△4,104	45,678
	3カ月以上延滞債権額	76	55	21
	貸出条件緩和債権額	12,135	△342	12,477
	合計	55,513	△6,203	61,716

貸出金残高(末残)	4,178,689	65,557	4,113,132
-----------	-----------	--------	-----------

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.04	△0.04	0.08
	延滞債権額	0.99	△0.12	1.11
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.29	△0.01	0.30
	合計	1.32	△0.18	1.50

2. 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	貸倒引当金	15,696	△3,304
一般貸倒引当金	3,748	△603	4,351
個別貸倒引当金	11,948	△2,701	14,649
特定海外債権引当勘定	—	—	—
特定債務者支援引当金	—	—	—
債権売却損失引当金	—	—	—
リスク管理債権に対する引当率	28.32	△2.51	30.83

(注) 1. 一般貸倒引当金は次のとおりに計上しております。

正常先債権につきましては、過去の一定期間の貸倒実績率に基づいた予想損失率の1年分の予想損失額を引当てております。

要注意先債権につきましては、まず、要管理先債権とその他の要注意先債権を区分しております。その他の要注意先債権につきましては、過去の一定期間の貸倒実績率に基づいた予想損失率の1年分の予想損失額を引当てております。また、要管理先債権につきましては、担保・保証等により保全されていない部分の貸倒実績率に基づいた予想損失率の3年分の予想損失額を引当てております。

2. 個別貸倒引当金は次のとおりに計上しております。

破綻先(会社更生、民事再生、破産、特別清算及び手形交換所における取引停止処分等、法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者)及び実質破綻先(実質的に経営破綻に陥っている債務者)につきましては、債権額から担保・保証による回収見込額を控除した残額を引当てております。

破綻懸念先(現状経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者)につきましては、債権額から担保・保証による回収見込額を控除した残額のうち、債務者の支払能力等を多角的に分析し今後3年間における予想損失額を引当てております。

【連結】

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	貸倒引当金	21,035	△3,510
一般貸倒引当金	5,873	△700	6,573
個別貸倒引当金	15,162	△2,810	17,972
特定海外債権引当勘定	—	—	—
特定債務者支援引当金	—	—	—
債権売却損失引当金	—	—	—
リスク管理債権に対する引当率	37.89	△1.88	39.77

3. リスク管理債権に対するカバー率

【単体】

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	リスク管理債権 (A)	55,420	△6,201
担保等保全額 (B)	31,522	△3,033	34,555
貸倒引当金 (C)	11,931	△2,662	14,593
引当率 (C ÷ A)	21.52	△2.16	23.68
カバー率 ((B + C) ÷ A)	78.40	△1.36	79.76

4. 金融再生法開示債権と保全状況【単体】

(1) 金融再生法開示債権

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,020	△1,326
危険債権	34,864	△4,666	39,530
要管理債権	12,207	△288	12,495
小計 (A)	56,093	△6,279	62,372
正常債権	4,193,561	79,353	4,114,208
債権合計 (B)	4,249,654	73,074	4,176,580
債権合計に占める割合 (A ÷ B)	1.31	△0.18	1.49

(2) 保全状況

①金融再生法開示債権額に対する保全状況

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	保全額 (C)	44,110	△5,772
貸倒引当金	12,334	△2,659	14,993
特定債務者引当金	—	—	—
担保保証等	31,775	△3,114	34,889
保全率 (C ÷ A)	78.63	△1.34	79.97

(注) 貸倒引当金には、要管理債権に対する一般貸倒引当金を含めております。

②金融再生法開示債権区分ごとの保全状況

イ. 2020年3月末

(単位 百万円、%)

	与信残高	担保・保証による保全額	引当額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,020	4,472	4,548	9,020	100.00
危険債権	34,864	22,202	7,295	29,497	84.60
要管理債権	12,207	5,100	491	5,591	45.80
合計	56,093	31,775	12,334	44,110	78.63

ロ. 2019年3月末

(単位 百万円、%)

	与信残高	担保・保証による保全額	引当額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,346	4,347	5,999	10,346	100.00
危険債権	39,530	25,082	8,541	33,623	85.05
要管理債権	12,495	5,459	452	5,911	47.30
合計	62,372	34,889	14,993	49,882	79.97

5. 不良債権の開示基準別の残高【単体】

(1) 2020年3月期末

(単位 億円)

自己査定結果 (債務者区分別)					金融再生法基準				リスク管理債権	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・保 証による 保 全 額	引当額	保全率	区 分	貸出金 残 高
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 21 <13>	13	8	— (3)	— (8)	破産更生 債権及び これらに 準ずる債権	45	45	100.0%	破綻先債権	17 <10>
実質破綻先 69 <38>	43	26	— (3)	— (31)	90 <51>				延滞債権	414 <384>
破綻懸念先 349	181	114	54 (73)		危険債権 349	222	73	84.6%		
要 注 意 先	要管理先 157	129			要管理債権 (貸出金のみ) 122	51	5	45.8%	3ヵ月以上 延滞債権	0
					貸出条件 緩和債権				121	
					小計 561 <522>	318	123	78.6%	合計	554 <516>
					正常債権 41,936				金融再生法基準に基づく不良債権比率 1.3%	
									総貸出に占めるリスク管理債権比率 1.3%	
									(参考)	
									部分直接償却した場合の不良債権比率 1.2%	
									部分直接償却した場合のリスク管理債権比率 1.2%	
合計 42,259 <42,220>	40,157	2,048	54 (79)	— (39)	合計 42,497 <42,458>					

- (注) 1. 記載金額は自己査定結果(債務者区分別)、金融再生法基準については億円未満を四捨五入、リスク管理債権については億円未満を切り捨てて表示しております。なお、比率については、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
2. 自己査定結果(債務者区分別)は、貸出金等与信関連債権(貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸付有価証券、貸出金に準ずる仮払金及び未収利息)を対象としております。金融再生法基準は、貸出金等与信関連債権に銀行保証付私募債を加えたものを対象としておりますが、要管理債権については貸出金のみを対象としております。また、リスク管理債権は、貸出金を対象としております。
3. 自己査定結果(債務者区分別)における()内は分類額に対する引当額であります。なお、破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みであります。
4. 当社は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の与信額を()内に記載しております。

(2) 2019年3月期末

(単位 億円)

自己査定結果 (債務者区分別)					金融再生法基準				リスク管理債権	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・保 証による 保全額	引当額	保全率	区分	貸出金 残高
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 39 <10>	32	8	— (2)	— (29)	破産更生 債権及び これらに 準ずる債権	43	60	100.0%	破綻先債権	35 <6>
実質破綻先 64 <40>	37	27	— (4)	— (24)	103 <50>				延滞債権	455 <432>
破綻懸念先 395	208	128	59 (85)		危険債権 395	251	85	85.0%		
要 注 意 先	要管理先 165	32	133		要管理債権 (貸出金のみ) 125	55	5	47.3%	3ヵ月以上 延滞債権	0
									貸出条件 緩和債権	124
					小計 624 <570>	349	150	79.9%	合計	616 <564>
	要管理先 以外の要 注意先 2,919	748	2,171		正常債権 41,142					
正常先 38,023	38,023									
合計 41,605 <41,552>	39,080	2,466	59 (92)	— (53)	合計 41,766 <41,712>					

金融再生法基準に基づく不良債権比率 1.4%
 総貸出に占めるリスク管理債権比率 1.4%
 (参考)
 部分直接償却した場合の不良債権比率 1.3%
 部分直接償却した場合のリスク管理債権比率 1.3%

- (注) 1. 記載金額は自己査定結果 (債務者区分別)、金融再生法基準については億円未満を四捨五入、リスク管理債権については億円未満を切り捨てて表示しております。なお、比率については、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
2. 自己査定結果 (債務者区分別)は、貸出金等与信関連債権 (貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸付有価証券、貸出金に準ずる仮払金及び未収利息)を対象としております。金融再生法基準は、貸出金等与信関連債権に銀行保証付私募債を加えたものを対象としておりますが、要管理債権については貸出金のみを対象としております。また、リスク管理債権は、貸出金を対象としております。
3. 自己査定結果 (債務者区分別)における()内は分類額に対する引当額であります。なお、破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みであります。
4. 当社は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の与信額を()内に記載しております。

6. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	4,203,160	69,673
製造業	583,036	△ 793	583,829
農業、林業	5,459	166	5,293
漁業	0	△ 1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	413	△ 142	555
建設業	108,141	3,293	104,848
電気・ガス・熱供給・水道業	57,624	600	57,024
情報通信業	20,506	△ 3,668	24,174
運輸業、郵便業	90,997	△ 8,402	99,399
卸売業、小売業	341,490	△ 15,348	356,838
金融業、保険業	113,945	△ 29,561	143,506
不動産業、物品賃貸業	434,268	13,085	421,183
学術研究、専門・技術サービス業	19,586	840	18,746
宿泊業、飲食サービス業	20,478	△ 168	20,646
生活関連サービス業、娯楽業	37,555	△ 2,024	39,579
教育、学習支援業	7,360	△ 681	8,041
医療・福祉	98,462	△ 796	99,258
その他のサービス	35,579	335	35,244
国・地方公共団体	467,084	24,161	442,923
個人	1,717,901	93,928	1,623,973
国内店名義現地貸	43,268	△ 5,150	48,418
その他	—	—	—
合計	4,203,160	69,673	4,133,487

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	55,420	△ 6,201
製造業	18,250	72	18,178
農業、林業	245	△ 16	261
漁業	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	86	△ 34	120
建設業	3,414	△ 495	3,909
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	143	△ 22	165
運輸業、郵便業	1,092	△ 96	1,188
卸売業、小売業	10,956	△ 4,393	15,349
金融業、保険業	11	△ 4	15
不動産業、物品賃貸業	4,601	△ 543	5,144
学術研究、専門・技術サービス業	314	△ 49	363
宿泊業、飲食サービス業	1,145	△ 300	1,445
生活関連サービス業、娯楽業	3,499	△ 161	3,660
教育、学習支援業	53	3	50
医療・福祉	1,726	250	1,476
その他のサービス	889	118	771
国・地方公共団体	—	—	—
個人	8,988	△ 531	9,519
国内店名義現地貸	—	—	—
その他	—	—	—
合計	55,420	△ 6,201	61,621

(3) 消費者ローン残高【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
消費者ローン残高	1,737,405	96,430	1,640,975
うち住宅ローン残高	1,703,104	97,827	1,605,277
うちその他ローン残高	34,301	△1,397	35,698

(4) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
中小企業等貸出比率	72.77	0.91	71.86
中小企業等貸出金残高	3,059,036	88,497	2,970,539

7. 国別貸出状況等【単体】

(1) 特定海外債権残高

該当ありません。

(2) アジア向け貸出金

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
香港	808	△399	1,207
うちリスク管理債権	—	—	—
タイ	350	△254	604
うちリスク管理債権	—	—	—
ベトナム	80	△32	112
うちリスク管理債権	—	—	—
マレーシア	1,000	0	1,000
うちリスク管理債権	—	—	—
アラブ首長国連邦	2,681	△334	3,015
うちリスク管理債権	—	—	—
サウジアラビア	1,000	0	1,000
うちリスク管理債権	—	—	—
インドネシア	500	0	500
うちリスク管理債権	—	—	—

(3) 中南米主要諸国向け貸出金

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
パナマ	257	△121	378
うちリスク管理債権	—	—	—

(4) ロシア向け貸出金

該当ありません。

8. 預金・譲渡性預金、貸出金の残高【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
預金	5,146,911	109,467	5,037,444
うち個人預金	3,710,555	66,295	3,644,260
うち法人預金	1,433,377	35,830	1,107,547
譲渡性預金	63,488	△7,927	71,415
貸出金	4,203,160	69,673	4,133,487

Ⅲ その他

1. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券		時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的の債券		償却原価法
その他有価証券	時価のあるもの	時価法（評価差額を全部純資産直入）
	時価を把握することが極めて困難と認められるもの	原価法
子会社株式及び関連会社株式		原価法

(参考)

買入金銭債権中の 信託受益権	時価のあるもの	時価法（評価差額を全部純資産直入）
	時価を把握することが極めて困難と認められるもの	原価法

(2) 評価損益

【連結】

(単位 百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	39	△61	95	55	100	139	38
その他有価証券	52,432	△15,630	63,525	11,093	68,062	72,869	4,807
株式	47,684	△11,273	48,893	1,209	58,957	60,147	1,190
債券	3,613	△5,993	4,892	1,278	9,606	9,669	62
その他	1,134	1,635	9,739	8,604	△501	3,052	3,554
合計	52,471	△15,692	63,620	11,148	68,163	73,009	4,846
株式	47,684	△11,273	48,893	1,209	58,957	60,147	1,190
債券	3,652	△6,055	4,987	1,334	9,707	9,808	101
その他	1,134	1,635	9,739	8,604	△501	3,052	3,554

(注) 1. 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、36,527百万円であります。

【単体】

(単位 百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△16	△16	39	55	△0	38	38
その他有価証券	51,023	△15,650	62,116	11,092	66,673	71,481	4,807
株式	46,276	△11,292	47,484	1,208	57,568	58,759	1,190
債券	3,613	△5,993	4,892	1,278	9,606	9,669	62
その他	1,134	1,635	9,739	8,604	△501	3,052	3,554
合計	51,007	△15,666	62,155	11,148	66,673	71,519	4,846
株式	46,276	△11,292	47,484	1,208	57,568	58,759	1,190
債券	3,596	△6,009	4,931	1,334	9,605	9,707	101
その他	1,134	1,635	9,739	8,604	△501	3,052	3,554

(注) 1. 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、36,157百万円であります。

2. 2021年3月期業績予想

【単体】

(単位 百万円)

	2021年3月期 (予想)		2020年3月期 (実績)		(A) - (B)
	通期 (A)	中間期	通期 (B)	中間期	
経常収益	65,900	33,500	71,785	37,062	△5,885
経常利益	9,000	4,600	7,728	4,864	1,272
当期(中間)純利益	6,200	3,200	4,597	3,350	1,603
業務純益	8,700	4,300	9,760	6,010	△1,060

・近時の金利情勢や有価証券市場の動向を踏まえ、経常収益は前期比 58 億円減少の 659 億円、経常利益は前期比 12 億円増加の 90 億円、当期純利益は前期比 16 億円増加の 62 億円と予想しております。また、業務純益は前期比 10 億円減少の 87 億円と予想しております。なお、新型コロナウイルスの終息時期が不透明な状況であること等から、当社業績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難な状況のため、本業績予想には当該影響を織り込んでおりません。

【連結】

(単位 百万円)

	2021年3月期 (予想)		2020年3月期 (実績)		(A) - (B)
	通期 (A)	中間期	通期 (B)	中間期	
経常収益	108,700	54,800	115,303	58,362	△6,603
経常利益	11,400	5,800	10,335	6,414	1,065
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	7,200	3,700	5,498	3,913	1,702

・連結決算の大部分を占める単体業績予想を基に、上記のように予想しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。